

- 1 鴨長明が活躍し、古典文学が発展した時期を何という？
 ① 奈良時代 ② 鎌倉時代 ③ 平安時代 ④ 室町時代
- 2 鎌倉時代に日蓮が唱えた「題目を唱えるだけで救われる」という教えにより、支持を集めた対象となった人々を何という？
 ① 民衆 ② 大名 ③ 貴族 ④ 公家
- 3 鎌倉時代に臨済宗を日本に伝えた僧侶は誰？
 ① 日蓮 ② 道元 ③ 栄西 ④ 親鸞
- 4 後鳥羽上皇が鎌倉幕府の打倒をめざして挙兵し、幕府軍に鎮圧された「承久の乱」が起こったのは何年？
 ① 1192年 ② 1274年 ③ 1185年 ④ 1221年
- 5 源頼朝の弟として、壇ノ浦の戦いで平氏を打ち破る中心的な役割を果たした人物は誰？
 ① 源義経 ② 源範頼 ③ 源義仲 ④ 源頼朝
- 6 鎌倉時代の武士が重んじた、規律を厳しく守る生活態度のことを何という？
 ① 華美 ② 厳格 ③ 優雅 ④ 放縦
- 7 鎌倉時代において、御恩と奉公を通じた将軍と御家人の結びつきによって成立した政治権力を何という？
 ① 室町幕府 ② 江戸幕府 ③ 明治政府 ④ 鎌倉幕府
- 8 鎌倉時代に御家人が負担した、戦いのための動員や役務を何という？
 ① 公事 ② 雑役 ③ 軍役 ④ 番役
- 9 承久の乱で朝廷に勝利した後、鎌倉幕府が京都の朝廷を監視するために設置した役所を何という？
 ① 京都守護 ② 六波羅探題 ③ 鎮西探題 ④ 関東申次
- 10 鎌倉時代に広まった新しい仏教の一つである時宗を開き、念仏を唱えながら踊るという布教方法をとった僧侶は誰？
 ① 一遍 ② 栄西 ③ 親鸞 ④ 法然
- 11 元を訪れ、その見聞を記録として残したイタリアの商人は誰？
 ① ザビエル ② マテオ・リッチ ③ マルコ・ポーロ ④ イブン・バットウータ
- 12 執権の北条泰時が御成敗式目を制定したのは何年？
 ① 1192 ② 1185 ③ 1333 ④ 1232
- 13 鎌倉時代、源頼朝が全国の荘園や公領の管理・年貢徴収をさせるために設置した役職を何という？
 ① 執権 ② 地頭 ③ 守護 ④ 評定衆
- 14 法然の教えを継承し、さらに全国へと広めていった弟子は誰？
 ① 親鸞 ② 日蓮 ③ 空海 ④ 最澄
- 15 北条泰時が制定した御成敗式目の別称で、制定された年号に由来する呼び名を何という？
 ① 武家諸法度 ② 建武式目 ③ 公事方御定書 ④ 貞永式目
- 16 承久の乱を起こし、鎌倉幕府を倒そうと試みた上皇は誰？
 ① 後白河上皇 ② 白河上皇 ③ 後鳥羽上皇 ④ 後醍醐天皇



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る 答え	言えた
1	この時代には、戦乱の不安や厳しい生活環境を背景に、無常観を湛えた文学が発展しました。	2 鎌倉時代	☐
2	日蓮の教えは、難しい書物を読まなくても「南無妙法蓮華經」と唱えるだけで良いというものでした。この分かりやすさと、社会の悪を鋭く批判する日蓮の態度は、日々の生活に苦しむ民衆に強く支持されました。	1 民衆	☐
3	栄西は二度中国へ渡り、そこで修行して帰国後に臨済宗を伝えました。	3 栄西	☐
4	1221年、後鳥羽上皇が中心となって起こしたのが承久の乱です。	4 1221年	☐
5	源義経は、一ノ谷の戦いや屋島の戦いなど、数々の戦いで創意工夫を凝らした戦術を用いて平氏を追い詰めました。	1 源義経	☐
6	鎌倉時代の武士は、富や権力を誇示するよりも、質素で厳格な生活を送り、主君に対する絶対的な忠誠を誓うことを美德としました。	2 厳格	☐
7	鎌倉幕府の政治は、将軍が御家人に対し領地を保証し、御家人がそれに応じて軍事的奉公をするという「御恩と奉公」を骨子としています。	4 鎌倉幕府	☐
8	軍役は、御家人が「奉公」として果たさなければならない主要な義務です。	3 軍役	☐
9	鎌倉幕府は京都に「六波羅探題」を設置しました。	2 六波羅探題	☐
10	一遍は時宗の開祖であり、念仏を唱えることが救済につながると説きました。	1 一遍	☐
11	マルコ・ポーロは父親らと共にヴェネツィアを出発し、数年かけてモンゴル帝国の都である大都に到着しました。	3 マルコ・ポーロ	☐
12	この法律は、それまでの習慣を基礎とし、武士社会の道理に基づいて裁判を行うための基準を明確にしたものです。	4 1232	☐
13	1185年、頼朝は朝廷から各地への「地頭」の設置を認めさせました。	2 地頭	☐
14	親鸞は、法然の弟子として学び、その教えをより徹底させました。	1 親鸞	☐
15	制定された1232年の元号が「貞永」であったため、御成敗式目は「貞永式目」とも呼ばれます。	4 貞永式目	☐
16	1221年、後鳥羽上皇は全国の武士に対して北条義時を討つよう院宣（命令）を出しました。	3 後鳥羽上皇	☐

言えなかった用語ノート